学校番号	３０２９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ（光村書店）書Ⅰ　７０５						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・楷書から行書、仮名に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・半切条幅作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考えている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 書のよさや美しさを創造的に味わっている。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	楷書を学ぶ	・書写から書道へ ・姿勢と執筆法について ・用具、用材説明 線の引き方から概念くだき ・楷書（牛橛造像記を中心に） 一本一本の線の表情と空間の取り方から美の法則を学ぶ ・半切条幅作品に仕上げる	a：楷書の技法を理解して半切条幅作品を仕上げている。 b：一本一本の線の表情と空間の取り方から美の法則を考えようとしている。自他の作品のよさや美しさを感じ取り、作品について理解を深めている。 c：楷書の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	提出作品	提出作品	行動観察
	行書の特徴を知る	・プリントによる考察 ・基本的特徴の６段階有ることを学ぶ創作 ・行書体の字調べをし、半切に仕上げる。	a：行書の技法を理解して半切条幅作品を仕上げている。 b：行書の線の表情と空間の取り方から美の法則を考えようとしている。自他の作品のよさや美しさを感じ取り、作品について理解を深めている。 c：行書の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	提出作品	提出作品	行動観察
後期	仮名の書に親しむ	・プリントによる考察 日本文化と仮名について ・仮名の成立 ・基本線を学びつつ、ひら仮名、変体仮名、連綿の仕方を知る ・古筆を学ぶ 高野切れ、古今集等	a：仮名の技法を理解して作品を仕上げている。 b：基本線、ひら仮名、変体仮名、連綿と空間の取り方から美の法則を考えようとしている。自他の作品のよさや美しさを感じ取り、作品について理解を深めている。 c：仮名の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	提出作品	提出作品	行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度